学校法人　川副学園
博愛の里こども園

令和６年度
No.３１

1月 博愛の里だより

元気いっぱい　やる気まんまん　笑顔にこにこ

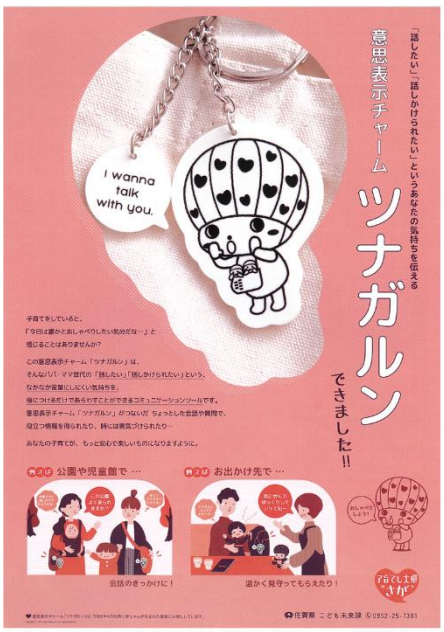
本園の HP です。
カラー版で拡大してご覧ください。

令和７年　１月 22 日
文責：五反田　康子

いつのまにか成人式も大学入試センター共通テストも大寒も過ぎていました。**「１月は行く、２月は逃げる、３月は去る」**と言われていますが、本当にあっという間です。ばら組では卒園式の歌や呼びかけの練習が始まっています。今年は２月２日（日）が**節分**。もうすぐ春がやってきます。園では **31 日（金）に豆まき**を予定しています。邪気とともに自分の中の悪い鬼も追い払いたいものですね。ちなみに、「米などの五穀の中でもっとも大きく力が強い大豆」を使った炒り豆を枡に入れて鬼に投げつけるのは、「豆（魔目）を炒る（射る）＝魔滅」、「枡（効力が増す）」というゲン担ぎからきているのだとか。季節の節目。昔の人の切なる思いがこもっているのですね。2025 年の恵方（陰陽道の考えに基づいたその年の歳徳神が居る方角のこと）は西南西だとか。物価高騰で話題の恵方巻ではありますが、黙って１本丸かぶりして福を呼び込みたいところです。まさに豆知識でした。

17 日（金）は**保育参観及び懇談会**へのご参加、ありがとうございました。懇談会では来年度の行事予定についてお話させていただきました。大きな**変更点**として「運動会（時期 10/11 に、以上児クラスのみ参加、場所：大詫間小学校）」「引渡し訓練 5/29 の全員参加のご協力」をお願いしました。どのクラスも１つ上のクラスへと進級します。その準備を含めあと３ヶ月、今のクラスを充実させて次へとステップアップしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ばら組さんは毎日朝とお昼にその日の**当番が園長室に報告**に来る仕事を続けているのですが、少しずつ上達し、もじもじの時間が短くなったり、緊張しつつも丁寧語が使えるようになったり、こちらからの質問に単語で答えるだけでなく色々とエピソードや自分の考えを聞かせてくれる子も出てきました。友達と氷鬼をして楽しかった様子やお別れ遠足など今後の行事が楽しみなこと、小学校進学への期待（勉強、給食、体育の授業）なども聞かせてくれます。個人差はありますが、**どの子も確実に頼もしく成長しています。**親も、最初から「親」はいないので、子供によって「親」になっていきます。子供とともに一人前の「頼もしい親」に成長していかなければ。今後いろいろな試練が待ち受けているかもしれませんが、お子さんと一緒に悩んで、「一回り大きな親」になっていけたらいいですね。裏に佐賀県からの案内を載せていますので参考になさってください。

20 日（月）1 月の**おはなし会**がありました。たんぽぽ組とさくら組でした。「おふろでなんでやねん」「ねことねこ」「うさぎたんていミミ」の 3 冊。どちらのクラスも集中して聞いていました。挨拶もとても上手でした。子供たちの質問に坂田先生の「不思議なことでもお話の中では大丈夫なんですよ。面白いね。」とおっしゃったことが印象的でした。

右下の写真は**さくら組の朝の会の様子**です。集団でのお話の聞き方もすっかりお兄さんお姉さんになっていますね。